

つるのおんがえし

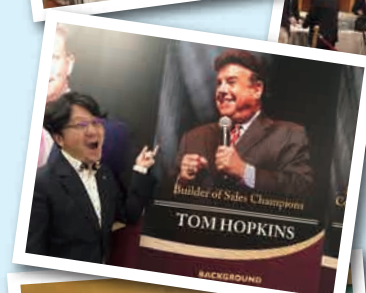


「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」



世界のプレゼンター集合です!!

シンガポール
特大号



シンガポールでのミッションは?

こんにちは。熱がある時に体温を測って「熱がある」と自覚した途端に体調が悪くなったり、空気清浄機に表示される湿度の数値を見ると、急に部屋が暑く感じたりする、単純男、感動、創庫の芦川です。この時季の湿気対策にクローゼットと下駄箱に設置した湿気取りに溜まった水の量を見て、ニヤツとしているのは私だけではないはずですよ。

さて、今回のつるのおんがえしは、「世界標準を見に行くぞ!」ということに向かって、シンガポールでの「トラベルレポート」を盛りだくさんでお送りします。5月の中旬

でしたが、シンガポールは赤道直下の国ということで、現地の気温は37度。周りが海に囲まれていることが影響しているらしいのですが、日本の梅雨と比較しても明らかにそれ以上の湿気で、さしずめミストサウナの中にいるような、汗がたらたらと流れて落ちてくるほどのムンムンした空気感でした。アジア圏に行くとき現地人と間違われて話しかけられる、というお約束は今回も健在で、自分のルーツを辿ったらやっぱりアジアなのかなあと感じられる、美味しいローカルフードがたくさんありました。暑い国の食べ物ってパワーがあるので、つい食べ過ぎちゃいますね。たった2日目で日本食が恋しくなってしまうましたが…。

と言っても今回、シンガポールへ行った目的は、グルメの旅に行っただけでも、常夏リゾートを満喫しに行ったわけでもありません。毎月参加している世界会議のメンバーと共に、「NAC」と呼ばれる世界のトップスピーカーが登壇するイベントを見に行つて、現地在を確認することこそが、今回最大のミッションでした。



シンガポール弾丸トラベル!!



念願だった
シンガポールに!

シンガポール建国の父、リークワンユーが亡くなって一年。彼に会ったことがある人からその偉大さを聴いたり、海水から真水を作る技術を用いて、国中に水を供給している技術の話も聞きました。あつて、今すぐにも行ってみたいと願っていた場所に、ようやく行くことができました。

今回の旅はあくまで、「NAC」への参加が目的だったので、旅らしく歩き回ったのは実質一日だけ。中学生の頃に読んだ漫画で、シンガポールってゴミを捨てたら高い罰金を取られる!とか、タイガーバームガーデンという楽園のような空間があるとか、ものすごくキレイな国なんだなあ、という20年以上前の印象をそのまま持ちつつ、マリーオンはどこで見れるのかなんてことも一切調べることなく、ガイドブックを後で読めば良いやと相変わらずの無計画で、飛行機の中で感じたまま、目的地をぼちぼち決めての歩き旅でした。

世界にググッと近づいた感覚
と言っても、その場にいたのはわずか2時間ほど。すべて吸収して帰ろう!という謙虚な気持ちで、会場内のいろいろな場所を見たのですが、なんとなく飽きちゃいました。ご馳走様!という気分になつたんですね。そしてこの感覚、他のメンバーも同様でした。「さ、そろそろ戻りましょうか!」とみんな退場してきました。端的に説明すると、世界のトップの位置がわかり、自分たちがそこになら近づいているということが確認できたのです。いえ、正確にはココが目標ではなく、もっと高い次元の場所が作れる!と確信が持てたんですね。

大満足だったNACの視察後、夕飯はアラブストリートと呼ばれるイスラムの方々の

ボディランゲージで
何処までも!

朝11時ごろ、羽田を飛び立った飛行機がチャング国際空港に到着したのは、現地時間の16時頃。時差がちょうど1時間なので、7時間のフライト、だったようです(寝ちゃってまったく覚えてません)。メンバーと同じ飛行機に乗っていたので、タクシーに相乗りをして各々宿泊するホテルに向かいました。「コリアン? チャイニーズ?」と尋ねてきたドライバーさんはなかなか気さくな方で、おおよそ20分ほど外すわーと嬉しくなりました。ボディランゲージ多用の片言イングリッシュで、「白バイがあんな小さくてスポーツカーとか捕まえられるの?」と聞いてみると、「バイクはBMWだから、フェラーリだって捕まえられるさ!」ですって。日本車がかなり人気みたいで、「トヨタはナンバーワン、ホンダがナンバーツー!」とも言っていました。

緑が多い、美しい国
理由は、政治にあり

シンガポールの第一印象はとにかく緑が多い。車道も日

生活圏に行きました。メニューを隅々まで見ていないので分かりませんが、お酒の類は無かったようです。下町感覚で食べられるリーズナブルな料理の多くは、ヒーヒー言うほど辛くて、それでいて甘い。ジョッキで飲むミロ(子供が飲むココアのような飲料)もありました。イスラムの街ってこんな感じなんですね。ここでメンバーとは解散。熱帯夜の中、夜の市場に向かって歩いて出かけて、ホテルに着くと同時にスコールが雷鳴とともにやってきました。

世界はまだまだ広い
だけど、遠くはないよ!

翌朝、雨はすっかり上がって、蒸し暑さも気温とともに上がりました。この日はガイドブックで見て、あたりをつけていた場所にいくつも行きました。シンガポールといえば噂の船が乗っかっているホテル、マリナ・ベイ・サンズは見るだけでしたが、その隣にある今回一番行きかけた場所、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイは圧巻でした。リークワンユーが生涯最後の国家プロジェクトとして造られたこの国立公園は、世界でこんなに

気持ちがいい街です

一日目は、現地の暑さに身体を鳴らしつつ、世界会議のメンバーがそれぞれ違うホテルから集合して、川辺にあるお洒落なバーで夕飯を食べました。私の庶民的な味覚をはるかに上回って美味しい食べ物ばかりだし、サービスも行き届いて、お店の雰囲気もロケーションも良いし、シンガポールクオリティさすがだあ!と思っただけで、OH! やっぱシンガポールプライス! 中心街の物価はやっぱり

美しい場所はあるのかと、ため息が出っぱなしでした。中央の噴水に触れながら3周回ると願いが叶うというスポット、通称「富の泉」と呼ばれる「ファウンテン・オブ・ウェルス」では3周回することも出来たし、ローカルフードが集まる「マックスウェル・フードセンター」にも行って、チキンライスや現地のお菓子も食べました。ごちゃごちゃした下町と大きいビルが混在しているチャイナタウンは、何度も首をかしげるほど不思議でカオスな空間で、ぼつたりと覚悟でハラハラしながら買い物もしてきました。そして金融街の高いビル群の壁面にまで植えられている緑。経済的な大ききよりも、やっぱり緑化なのね!という徹底ぶりに驚かされました。

外から見るとやっぱり
いい国、日本

ということ、一日限定のシンガポール中心街巡りによります「トラベルレポート」、ちよつとだけ参考になりました。たでしょう。私にとって何よりの成果は、日本と比較したりするんじゃないかと、日本独自にやれることはたくさん

高いですね。

そして、翌日は朝7時にホテルを出まして、セントーサという島に向かいました。ここはユニバーサル・スタジオ・シンガポールもあるリゾートアイランド。ディズニールランドの駐車場の入り口のような場所があり、「あんさん、どこ行くくん?」と聞かれた(感じ)ので、「NAC」のチケットを見せると、ゲートが開いてタクシーで無事通過ができました。あ、ちなみにタクシーは日本に比べてだいぶ安いです。地下鉄も乗ってみました。が、郊外に出るときはタクシーの方が断然ラクでした。ここら辺は観光立国を目指す日本としては、マネすべき点だと思います。セントーサの中央にある、ワールド・コンベンション・センターという会場で行われた「NAC」は年一回のとても貴重な機会ということもあって、世界各国から参加者が来ていました。2日間の開催でいずれも朝9時からスタートっていうのも、何となく海外って感じですね。「日本人はこちら」と書かれたブースもありましたが、英語が苦手でも積極果敢に普通のブースで受付をして、担当者を少し困

あるよ! っていう気づきがいっつも見つけられたこと。ホテルに居てもタクシー乗ってもわかるんですけど、おもてなしとかはやっぱり日本は世界一なんです。世界一裕福な国とされる場所で、これに気付けたのは、デカイです。

「よし、やるぞ!」と思ってギヤを一段上げてから、まだ2年も経っていませんが、果てしない夢だと思っていたことが、確実に近くなっている! 今までやってきたことはすべてつながっている! と実感しました。緑にあふれる街並みを汗をかきつつ歩きながら、これまでの様々な困難に心から感謝がこみ上げてくる、有意義な旅でございました。次に行くのは、どこにしようか?」



世界会議発起人の吉田健さんと
合言葉はもちろん、
No meat, No life!

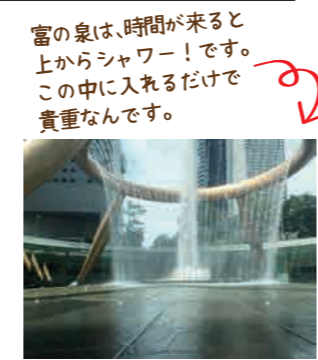
高層ビルも
壁面にはグリーン。
美しいですねー



北海道のアーティスト、デコさんと路上パフォーマンスを体験しました



夜も眠らないギギズ・ストリートは、B級みやげ物のメッカでした。



富の泉は、時間が来ると上からシャワー! ですよ。この中に入れるだけで貴重なんです。



京都でバスに乗れなかった私でもシンガポールのバスには乗れました。何でも分かりやすさがキモ、ですね。



ビーチでの昼食も
お肉たくさん!



「バクデー」はシンガポールの定番朝食です。



これ一食、300円くらいです。

心に響く感動の格言

我が国は、このように外へ
資源が何もいふんば
資源が何もいふんば
このまじか、秘密なんば

ハワイのことわざ

連休が終わると、次に来るのは、ジメジメとした梅雨の季節。

お母さんにとっては洗濯物が乾かないイヤな時期。くせ毛の人には髪がまとまらない面倒な時期。ポスティング業者には一番大変な時期でもあります。私たちの生きるための「水」を確保するためには、とても大切な時期です。

苦あれば楽あり、陰と陽、とも言えるかもしれません。私たちにとってポジティブな経験の大半は、苦難、苦勞のあとのご褒美的にいただいているものなんです。

涼子の 気になっちゃう ♡ 広告!

洗剤の広告

目の錯覚を使った広告です。10秒間真ん中の洗剤の容器を見ていると、ワインと書かれた文字が薄く消えていくように見えます。ぜひ、やってみてください。びっくりしますよ!! 商品を10秒間見つめてしまうので、覚えちゃう面白いメキシコの広告です。



Persil

編集後記

筋肉がついたカラダ

スポーツジムに通い始めて、半年が経ちました。会う人会う人に「太った?」と言われたり、肩をペシペシと叩かれて確認されるほど、身体のサイズが目に見えてデカくなりました。某ライ○ップのビフォーアフターCMよりしく、ムッキムキにまではなっていないんですけど、服が今までのMサイズだと、キツくて肩がこります。ワイシャツはボタンを閉めると首が「うー苦ぴー」となってしまうので、クリーニングしたてでも鳴く鳴く処分。170〜175センチ程度の方に配りまわっています。

先日、箱根駅伝2連覇中の青山学院大学の原監督が、「腕振りをスムーズにするために、腕立てをさせない」という独自のトレーニングについて語っておられました。僕も市民ランナーなので、このデカくなった身体で走ることは向いているのか、どうなんだろう?と考えさせられました。着れない服が増えて、買い換えでテンションを上げる喜びはあるとしても、果たしてこれで良かったんだろうか。カフェオレ味のプロテインを一気飲みしながら、細マッチョの価値について考えて始めたところなんです。

